



あきつ



第2号
令和7年5月15日
校長 田上 明男

「子どもたちの命を守る」

学校において、もっとも大切にされるべきこと。それは、『子どもたちの命を守る』ことです。学校において、これ以上に守るべきものはありません。朝、元気よく登校してきた子どもたちを、そのままの姿でご家庭へ帰す。一見、当たり前に見えることですが、一番大切なことであり、重要なことです。そのため、様々な取り組みが多くの人たちの助けを借りて、なされています。

その1…避難訓練

新学期が始まって、地震避難訓練を実施しました。9年前に熊本地震が起りましたが、この地震を経験していない子どもたちも増えてきました。秋津校区は熊本市内で一番被害が大きかったと聞いています。自然は私たちにいつ災害が起こるのか教えてはくれません。だからこそ、私たちは熊本地震での教訓を生かし、備えていかなければならないと思います。「いつも先生が傍にいるとは限りません。万が一地震が起こった時、学校内で安全な場所はどこか、お休みの日に外で遊んでいる時に地震が起こったら、どうするか。一人一人が『考える』ことが大切です。」子どもたちは真剣な表情で、話を聞いていました。きっと自分なりの答えを見つけ出してくれたと思います。



その2…地域の方々の力

子どもの命を守るために頑張っているのは、学校ばかりではありません。地域の方々も、子どもたちの命を守るために力を貸してくださっています。まずは、朝の交通指導です。交通安全協会秋津支部の副支部長の貝島治男さん(78)が、毎朝7時過ぎから秋津小正門の横断歩道の所で、子どもたちに元気な声を掛けながら子どもたちの安全を見守ってくださっています。また、地域の民生委員・児童委員の方々も月1回挨拶運動を正門で行われ、同時に子どもたちの登校を見守ってもらっています。この方々以外にも、校区の交差点での安全指導、通学路の安全点検やパトロールもいただいています。多くの方々のお力を借りて、子どもたちの命が守られています。



その3…安全教育

学校では、避難訓練以外にも学年に応じた安全教育を実施しています。

『交通安全教室』(1年生)

『自転車教室』(3年生)



東署の方から、「上手です。」と褒められました。

真剣な眼差しで、乗る時の注意点を聞いていました。

保護者の皆様へ ~ お願い ~

子どもたちの安全確保のため、欠席や遅刻をされる際は、必ず ①『すぐーる』②連絡帳 ③電話 のいずれかの方法で健康観察が始まる前(8時頃)までにはご連絡いただきますようお願い申し上げます。連絡が無い場合は、安全確認のため学校からご連絡させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。